

## 博物館概論

(解答はすべて解答用紙に記入し、この問題用紙に記入しないこと。)

1. 次の文章は平成24年(2012)、日本博物館協会によって定められた「博物館の原則」の一部である。日本の全ての博物館にとってあるべき社会的機能を示したこの文章を読み、①～⑩の( )内に□の中から最も適切な語句を選んで文書を完成させなさい。(同じ番号のところには同じ語句が入る。)(各2点)

博物館は、( ① )を目的とする機関として、次の原則に従い活動する。

1. 博物館は、学術と文化の継承・発展・創造と( ② )を通じ、人類と社会に貢献する。
2. 博物館は、人類共通の財産である( ③ )及び( ③ )にかかわる環境の多面的価値を尊重する。
3. 博物館は、設置目的や( ④ )を達成するため、人的、物的、財源的な基盤を確保する。
4. 博物館は、( ④ )に基づく方針と目標を定めて活動し、成果を評価し、( ⑤ )を図る。
5. 博物館は、( ⑥ )にコレクションを形成し、良好な状態で次世代に引き継ぐ。
6. 博物館は、( ⑦ )に裏付けられた活動によって、社会から信頼を得る。
7. 博物館は、展示や( ② )を通じ、新たな価値を創造する。
8. 博物館は、その活動の充実・発展のため、( ⑧ )の向上に努める。
9. 博物館は、関連機関や( ⑨ )と連携・協力して、総合的な力を高める。
10. 博物館は、関連する法規や規範、( ⑩ )を理解し、遵守する。

展示, 学術, 調査研究, 資料, 教育普及, 専門的力量, 一般的力量,  
非営利, 公益, 使命, 組織的, 体系的, 改善, 改革, 市民, 地域,  
文化庁, 倫理, ICOM職業倫理規定, 博物館法

2. 次の文章は、我が国における博物館の協会や博物館学に関する学会の成立などについて説明したものである。①～⑩の（ ）内に、の中から最も適切な語句または年を選んで文章を完成させなさい。(各2点)

我が国において、博物館に関する全国的な組織がはじめて誕生したのが、1928年発足の（ ① ）である。この組織は（ ② ）年に、名称を日本博物館協会に変更し、今日に至っている。この組織の発足と同時に雑誌（ ③ ）が創刊された。館園種ごとの組織も誕生した。1939年には（ ④ ）が、また戦後まもなく1952年には美術館を主な会員とする（ ⑤ ）が、1957年には全国大学博物館学講座協議会が発足した。

博物館界における全国的な学会の組織化では、1970年に（ ⑥ ）が、1995年には博物館を経営という視点から研究することを目指す（ ⑦ ）が誕生した。なお、この間に博物館に関するさまざまな研究会も誕生した。

このように「博物館」や「ミュージアム」という名称を冠してないが、博物館やその活動と関連が深い学会として、1982年にはディスプレイという観点から博物館などを研究する（ ⑧ ）、同年に日本文化財科学会、1989年にアート・ドキュメンテーション研究会、1992年には「創造都市」や文化・芸術の「外部性」などを研究する（ ⑨ ）が発足した。（ ⑩ ）年に文化芸術振興法が制定され、文化や芸術に関する政策に関心が寄せられるようになり、2007年に日本文化政策学会が誕生した。

日本美術館連盟、博物館事業促進会、美術館連絡協議会、全日本博物館協会、日本動物園植物園協会、博物館協議会、全国美術館会議、日本動物園水族館会議、日本動物園水族館協会、日本博物館学会、全日本博物館学会、全国博物館学会、文化経済学会<日本>、都市政策学会、文化芸術学会、ミュージアム経営学会、ミュージアム運営学会、日本ミュージアム・マネジメント学会、日本展示学会、ディスプレイ研究会、日本ディスプレイ学会、ミュージアム研究、博物館研究、博物館・美術館論集、1931、1941、1951、1961、1971、1981、1991、2001

3. 2021年は、東日本大震災から10年目にあたる。この間、東北各地では震災からの復興とともに、「震災伝承施設」（震災遺構）の設置も検討されてきた。一方で、この施設の設置には、当該地域においてさまざまな反対の議論も起こっている。

震災伝承ネットワーク協議会（2021年）によると、「震災伝承施設」とは、災害の恐怖や自然の畏怖およびそこから教訓が理解でき、災害時の防災に貢献できる施設で

あり、歴史的・学術的価値がある施設であるとしている。

これらのことを踏まえた上で、「震災伝承施設」にもし学芸員を配置した場合、どのような活動が可能になるか。次の3つの語句（その語句には下線を引く）をすべて用いて、200字以内で論じなさい。（20点）

地域社会      コミュニケーション      調査研究

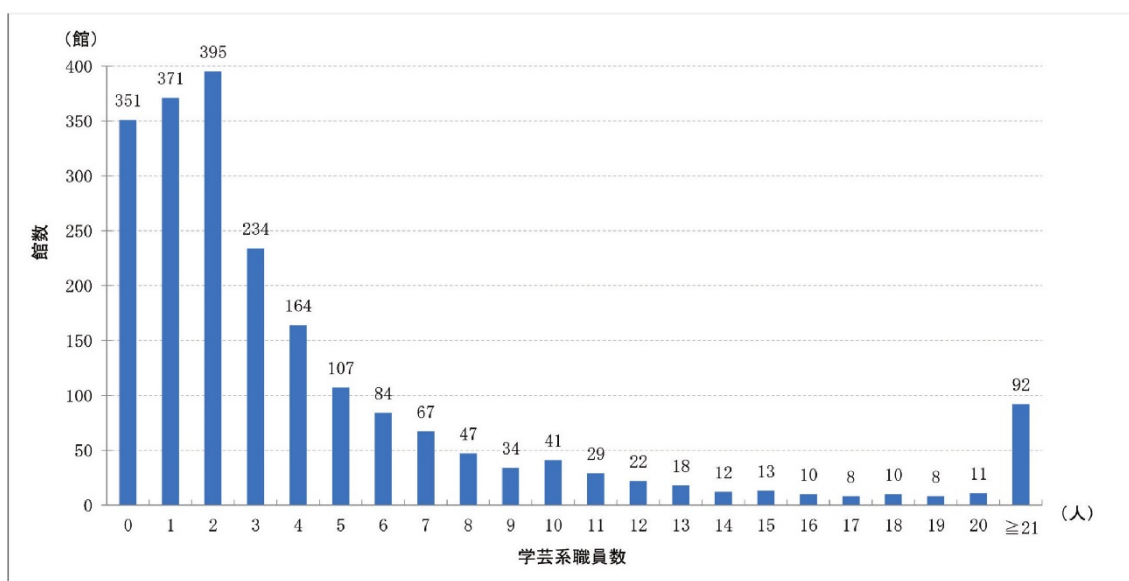
4. 『令和元年度 日本の博物館総合調査報告書』（公益財団法人 日本博物館協会、2020年発行）によると、回答した2,128館における学芸系職員の配置状況は表の通りである。なお、専任の学芸系職員が1人でも在職している場合は「専任」、1人も在職していない場合は「兼務のみ」と表記している。また、学芸系職員が1人でも常勤として勤務している場合は「常勤」、1人も常勤がいない場合は「非常勤のみ」と表記している。

この2つの図・表から読み取ることができる事実を使って、我が国の博物館が抱えている運営上の課題を2点論じなさい。（各100字以内）（各10点）

表 学芸系職員の配置状況 単位：%

専任		兼務のみ		配置して いない
常勤	非常勤のみ	常勤	非常勤のみ	
49.2	7.9	22.0	4.3	16.5

図 雇用している学芸系職員数



表：公益財団法人日本博物館協会「令和元年度 日本の博物館総合調査報告書」p80の表3-2-7を加工して作成

図：公益財団法人日本博物館協会「令和元年度 日本の博物館総合調査報告書」p81の図3-2-4より

5. 現在, 日本における博物館の質の維持・向上のために, 博物館の登録・指定制度の将来的な在り方について検討が進められている。この博物館の登録・指定制度の概要と課題について, 200字以内で説明しなさい。(20点)